

平成22年度肝炎・免疫センター看護師研修会

看護師による肝疾患ワーキング グループの活動報告



山口大学医学部附属病院
邑田真紀子

平成22年12月10日(金)

理念・目的

病床数 736床
看護職員 約700名



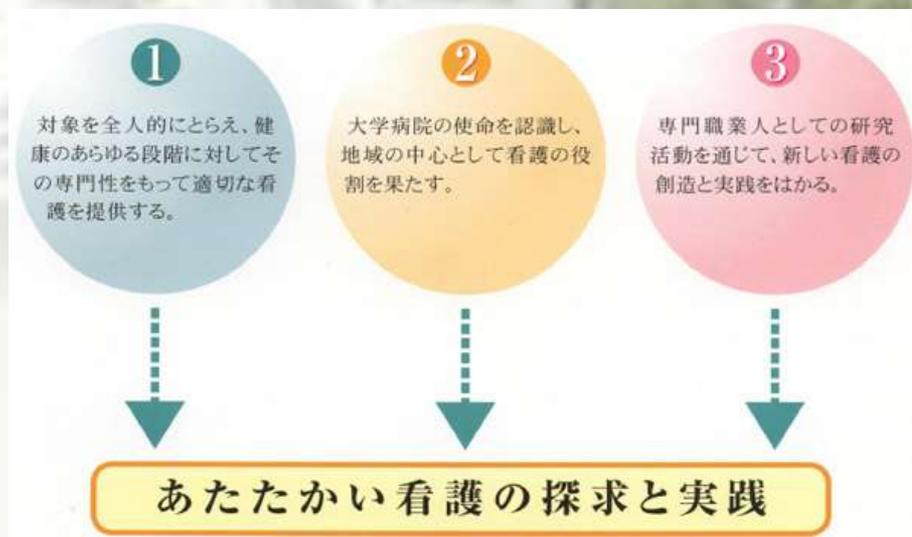
山口大学医学部附属病院
山口県宇部市南小串1-1-1

1. 患者の立場に立った全人的医療を実施する
2. 将来を担う医療人を育成する
3. 世界に発信する高度先進医療を推進する
4. 地域医療を発展させる

山口大学医学部附属病院
<http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/>

山口大学医学部附属病院看護部
<http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~kangobu/>

看護部の理念



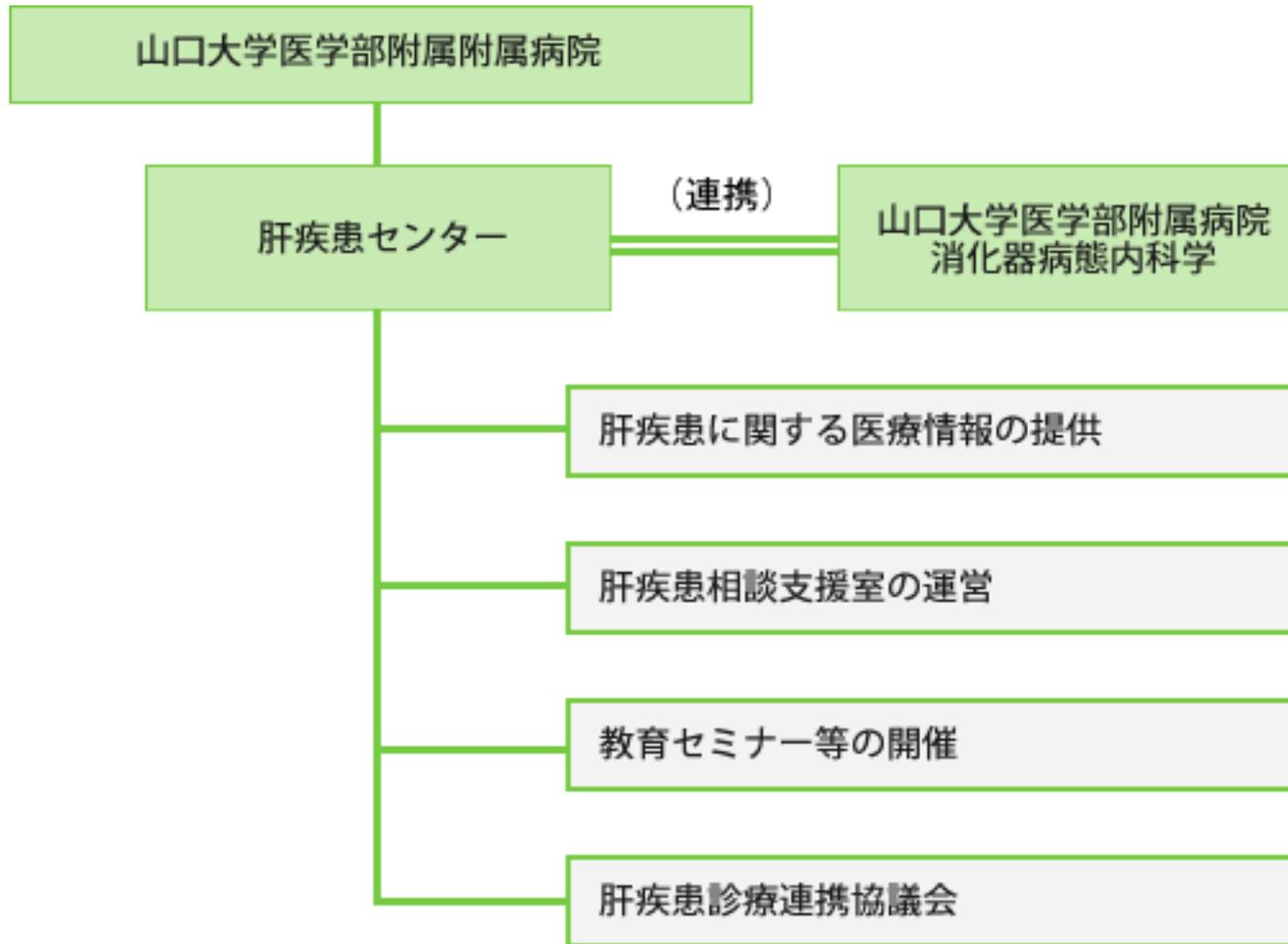
肝疾患診療連携拠点病院 山口大学医学部附属病院肝疾患センター

<http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~kanzou/index.html>



平成21年 2月 山口県肝疾患診療連携拠点病院に指定
平成21年10月 肝疾患センターを設立

肝疾患センター—組織図



本日の内容

- 肝疾患ワーキンググループの立ち上げ
- 肝炎治療診療連携
- 肝臓病教室の運営
- Q&Aコーナー
- 肝炎ウイルス検査の広報活動
- 肝疾患研修会での活動報告



(美かん)

(かん次)

本日の内容

- 肝疾患ワーキンググループの立ち上げ
- 肝炎治療診療連携
- 肝臓病教室の運営
- Q&Aコーナー
- 肝炎ウイルス検査の広報活動
- 肝疾患研修会での活動報告



(美かん)

(かん太)

肝疾患ワーキンググループの立ち上げ

◆平成22年4月から活動開始

◆ワーキンググループのメンバー

看護師長 1名

副看護師長 2名

病棟看護師 8名

計11名

本日の内容

- 肝疾患ワーキンググループの立ち上げ
- **肝炎治療診療連携**
- 肝臓病教室の運営
- Q&Aコーナー
- 肝炎ウイルス検査の広報活動
- 肝疾患研修会での活動報告



(美かん)

(かん次)

肝炎パスポート(1)

<http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~kanzou/passport.html>



- ◆ ウイルス性慢性肝炎・肝硬変のクリニカルパス
- ◆ C型慢性肝炎インターフェロン治療用のクリニカルパス

- ◆ 経時的に血液検査結果や治療の記入ができる
- ◆ 肝疾患センターのホームページからダウンロードができる

専門医療機関とかかりつけ医との連携により
肝炎患者に良質かつ適切な医療を提供する

肝炎パスポート(2)

肝炎パスポート

山口県肝疾患診療連携協会では、肝炎パスポートを作成いたしました。
この肝炎パスポートの目的は、診療連携を通じて診療情報を提供したり、専門医療機関やかかりつけ医の相談に応じて診療の手助けを行い、患者さんの治療に役立てるものです。

肝臓の病気は進行の具合が分かりにくく、治療には専門の知識を必要とします。そのため、定期的に検査を行っていくことが大切です。

このパスポートは日々の検査を記録し、長期間にわたって経過が一目で分かるように作成されていますので、より良い治療方針を決定する手助けとなります。

大きさは患者さんが持ち運びし易いようにB6判としています。肝炎治療に活用していただけますようお願いいたします。



肝疾患センター長
山口大学医学部附属病院消化器内科 教授 坂井田 功

山口県ウイルス肝炎診療ネットワークとは



肝疾患診療連携協会を中心とした、かかりつけ医と専門医療機関との連携によるウイルス肝炎診療における良質かつ適切な医療を提供するための診療体制です。

かかりつけ医および専門医療機関については変更がある場合がありますので、下記のホームページで確認してください。

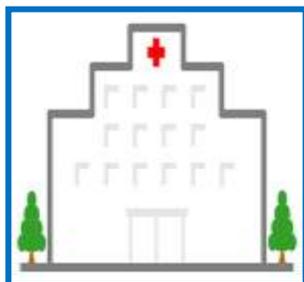
ホームページでは、様々な情報をお知らせしております。ぜひご覧下さい。

山口大学医学部附属病院 肝疾患センター

アドレス ▶ <http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~kanzou/index>

肝炎の医療連携と保険点数

診断・治療導入



専門医療機関

肝炎IFN治療計画料
700点

連携パス等を活用し、
診療可能な紹介元、近医へ

連携

継続治療



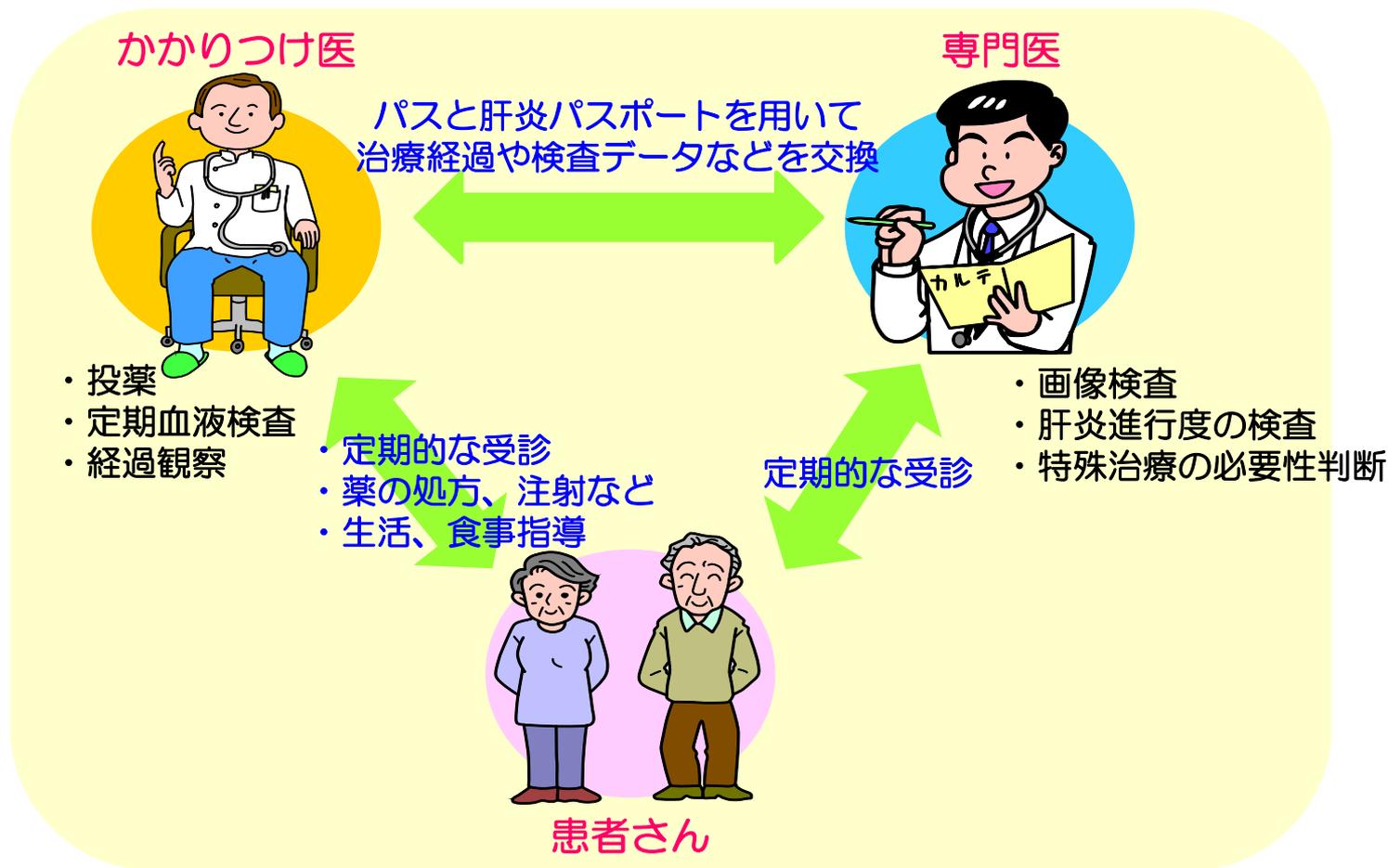
診療所・中小病院

診療情報提供料 I 250点
+
肝炎IFN治療連携加算 50点

翌月以降
診療情報提供料 I
250点

定期的な
専門医受診

肝炎インターフェロン(IFN)療法の連携クリニカルパス (第1版)



肝炎診療連携パス 第1版(改)

C型慢性肝炎 地域連携パス(～12週)

患者氏名	ID番号	導入機関名	山口大学医学部附属病院
生年月日	PEG-IFN名	医師名	
ジェノタイプ	リバビリン名	連携機関名	
ウイルス量	初回/再治療	医師名	
肝生検結果	予定期間	公費助成	

ペグインターフェロン

WBC	1500	半量	1000	中止
好中球	750	半量	500	中止
血小板	<6万	半量	5万	中止

リビリン

Hb	10未満	減量
	2以上低下	減量
	8.5未満	中止

日時	yyyy/mm/dd	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
経過	治療開始時	1週後	2週後	3週後	4週後	5週後	6週後	7週後	8週後	9週後	10週後	11週後	12週後	
達成目標	投与1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目	11回目	12回目	13回目	
達成目標	◆病気に對して理解している ◆治療の理解ができ、留意している ◆重篤な副作用や合併症なく治療が継続できる	◆重篤な副作用や合併症なく治療が継続できる	◆重篤な副作用や合併症なく治療が継続できる ◆外注での治療に移行できる ◆内服薬の自己管理ができる	◆定期受診できる ◆重篤な副作用や合併症なく治療が継続できる	◆定期受診できる ◆重篤な副作用や合併症なく治療が継続できる ◆超早期ウイルス消失(EVR)が得られる	◆定期受診できる ◆重篤な副作用や合併症なく治療が継続できる	◆定期受診できる ◆重篤な副作用や合併症なく治療が継続できる	◆定期受診できる ◆重篤な副作用や合併症なく治療が継続できる	◆定期受診できる ◆重篤な副作用や合併症なく治療が継続できる	◆定期受診できる ◆重篤な副作用や合併症なく治療が継続できる	◆定期受診できる ◆重篤な副作用や合併症なく治療が継続できる	◆定期受診できる ◆重篤な副作用や合併症なく治療が継続できる	◆定期受診できる ◆重篤な副作用や合併症なく治療が継続できる	◆定期受診できる ◆重篤な副作用や合併症なく治療が継続できる ◆早期ウイルス消失(EVR)が得られる
医療機関	山口大学医学部 第一内科	山口大学医学部 第一内科	連携医療機関	連携医療機関	山口大学医学部 第一内科 <small>(P4は連携医療機関でも可)</small>	連携医療機関	連携医療機関	連携医療機関	山口大学医学部 第一内科 <small>(P4は連携医療機関でも可)</small>	連携医療機関	連携医療機関	連携医療機関	山口大学医学部 第一内科 <small>(P4は連携医療機関でも可)</small>	
治療	PEG-IFN μg													
	リバビリン mg													
検査	PEG-IFN投与量(予定%)			0	#DIV/0!			0	#DIV/0!			0	#DIV/0!	
	リバビリン投与量(予定%)			0	#DIV/0!			0	#DIV/0!			0	#DIV/0!	
	白血球数 / μl													
	好中球数 / μl													
	Hb g/dl													
	血小板数 $\times 10^3 / \mu\text{l}$													
	AST IU/L													
	ALT IU/L													
	Cr mg/dl													
	Glu mg/dl													
TG mg/dl														
HCV-RNA量 LogIU/ml														
定性						*				*			*	
AFP ng/ml														
腹部超音波														
眼科						*							*	
体重 Kg														
食欲不振														
不眠・気分の落ち込み														
貧血症状														
眩														
発熱・かゆみ														
血圧・脈														
皮膚の状態														
注射部位														
その他														
パリアンス														

*有害事象 これらはいくまで代表例であり、患者様によっては症状や発症時期が異なる場合があります

*4週以降の眼科受診日は、眼科医の指示に従ってください

初期症状
～1w

インフルエンザ様症状
食欲不振、発熱、かゆみ

中期症状
～12w

倦怠感、口内炎、不眠、不安、頭痛
関節性痛み(軟部、呼吸困難、労作時息切れ、痲痺など)
嘔吐、不整脈、腸胃障害

後期症状
3w以降

脱毛
甲狀腺機能異常(動悸、汗かき、むくみ)

日時		治療実施日		
経過		治療開始時	1週間後	2週間後
		投与1回目	回目	回目
達成目標		◆病気に対して理 ◆治療の理解がで	◆重篤な副作用や ◆外来オリエンテー	◆重篤な副作用や ◆外来での治療に
医療機関		山口大学第一内科	山口大学第一内科	
診察医サイン				
治療	PEG-IFN	μg		
	リバビリン	mg		
		朝 C、タ C		
検査	白血球数			
	好中球			
	Hb			
	血小板数			
	AST			
	ALT			
	腹部超音波			
	眼科			
観察項目	血圧・脈・			
	体重			
	食欲不振			
	不眠・気分			
	貧血症状			
	咳			
	発疹・かゆみ			
	皮膚のトラブルの有無			
注射部位				
その他の 症状・指示など				
施行者サイン				

医師が記入

2回目以降は空欄になっているので投与回数は看護師が記入する

インターフェロン量

リバビリン内服確認し記入する

検査項目の値

観察項目は
インターフェロン当日の
担当看護師が
インターフェロン施行
前の状態を記入する

インターフェロン施行後から退院までの間に変化があった場合は「その他の症状・指示など」の欄に記入する

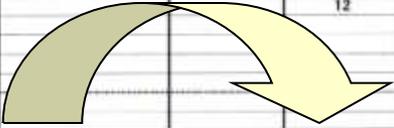
★注射部位はシートを用いて記入する 例:右上腕Aなど

今まで看護サマリーに書いていた内容は「その他の症状・指示など」の欄に簡潔に記入する

C型慢性肝炎 パス(~12週)

ジェノタイプ: 1 患者ID:
 ウイルス量: 高 既往歴: HT・DM十網膜症 患者氏名:
 肝生検結果: 予定期間: 48週間 肝炎助成の申請(済み)

日時	2010/7/8	2010/7/16	2010/7/23	2010/7/30	2010/8/6	2010/8/13	2010/8/20	2010/8/27	2010/9/3	2010/9/10	2010/9/17	2010/9/24	
経過	治療開始時	1週後	2週後	3週後	4週後	5週後	6週後	7週後	8週後	9週後	10週後	11週後	
達成目標	● 病気に対して理解している ● 治療の理解ができ、同意している ● 重要な副作用や合併症なく治療が可能である	● 重要な副作用や合併症なく治療が可能である ● 外来オリエンテーションを受け、治療について理解できる	● 重要な副作用や合併症なく治療が可能である ● 外来での治療に専念できる ● 内服薬の自己管理ができる	● 定期受診できる ● 重要な副作用や合併症なく治療が可能である	● 定期受診できる ● 重要な副作用や合併症なく治療が可能である ● 前早期ウイルス消失(RVR)が得られる	● 定期受診できる ● 重要な副作用や合併症なく治療が可能である							
医療機関	山形大学医学部 第一内科	肝炎助成の申請が済んでいるか確認して下さい(6/14申請済でした)			山形大学医学部 第一内科								
治療	PEG-IFN リバビリン	日高 80 800	日高 80 600	日高 80 600	日高 80 600	日高 80 400							
検査	白血球数 / μ l 肝中球数 / μ l Hb g/dl 血小板数 $\times 10^4$ / μ l AST IU/L ALT IU/L Cr mg/dl Glu mg/dl TG mg/dl HCV-RNA量 LogIU/ml AFP ng/ml	3610 2130 13.2 11.2 43 76 0.95 121 61 6.4 4	2870 2130 13.1 11.4 43 76 0.95 121 61 6.4 4	3510 2130 11.9 13.5 14 12 0.89 180 95 ★	3670 2130 10.9 12.9 14 12 0.89 180 95 ★	2840 2130 10.1 13.2 14 12 0.89 180 95 ★							
観察項目	血圧・脈・体温 体重 食欲不摂 不眠・気分の落ち込み 貧血症状 咳 発赤・かゆみ 皮膚のトラブルの有無 注射部位	なし 57.5kg なし なし なし なし なし なし 右上新A	180/109 6B 36 なし なし なし なし なし なし 左上新A	なし なし なし なし なし なし なし 右上新C	なし なし なし なし なし なし なし 左上新B	なし なし なし なし なし なし なし 右上新B	なし なし なし なし なし なし なし 左上新C						
その他の症状・指示など	7/7よりインターフェロン導入、注射部位の換洗なし、頭痛・腹痛なし、発熱時はアセトaminophenを使用している。発熱以外に特に症状はなく、7/10に退院となった。	肝生検後の成績17.6%改善、12日に発熱戻られたが、症状は軽微で、アセトaminophen150mgを使用している。発熱は軽微で、7/22に退院となった。											
発行者サイン	岩田	岩田	岩田	岩田	岩田	岩田	岩田	岩田	岩田	岩田	岩田	岩田	



この部分を拡大します

- ☆ 咳の状況観察して下さい(間質性肺炎注意!!)
- ☆ 血圧が高くないか確認して下さい。
- ☆ 上肢発赤の状態確認して下さい。
- ☆ 腹満感の観察を行って下さい。
- ☆ 8/6~レボトル減量あり、内服確認して下さい

観察項目	血圧・脈・体温	126/81 83 36.8	123/76 86 36.3	126/83 82 36.5
	体重(kg)	56.0	55.4	55.6
	食欲不振	なし	なし	なし
	不眠・気分の落ち込み	なし	なし	なし
	貧血症状	なし	なし	なし
	咳	時にあり	あり	あり
	発疹・かゆみ	左上腕A	右上腕C	左上腕B
	皮膚のトラブルの有無	なし	なし	発赤軽度
	注射部位	右上腕C	左上腕B	右上腕B
その他の 症状・指示など	肝生検後の皮膚 トラブルは改善し ている。7/22に発 熱があり、ボルタ レンを使用してい る。左上腕に発赤 があり、医師に報 告し、軟膏処方を 依頼する。	注射後、日～火 曜日にかけて発 熱があり、ボルタ レンを使用してい る。咳が時々あり、 出始めるとなかな かとまらない。 腹満感があり、ビ オフェルミンが内 服開始となった。	注射後、月～水 曜日まで発熱が あり、座薬を使 用している。 咳が続くため、内 服処方があった。 貧血があり、レベ トール減量の指 示があった。	

☆咳嗽の状況を確認してください
☆血圧が高くないか確認してください

☆上肢発赤の状態を確認してください
☆腹満感の観察を行ってください
☆8/6～レベトールの減量あり、内服確認をしてください

肝炎診療連携パスと肝炎パスポートを用いたC型慢性肝炎治療診療連携

肝炎連携パス

日時	yyyy/mm/dd	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
経過	治療開始時	1週後	2週後	3週後	4週後
	投与1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
達成目標	◆病気に對して理解している ◆治療の理解ができ、同意している ◆重篤な副作用や合併症なく治療が開始できる	◆重篤な副作用や合併症なく治療が継続できる	◆重篤な副作用や合併症なく治療が継続できる ◆外来での治療に移行できる ◆内服薬の自己管理ができる	◆定期受診できる ◆重篤な副作用や合併症なく治療が継続できる	◆定期受診できる ◆重篤な副作用や合併症なく治療が継続できる ◆超早期ウィルス消失 (RVR) が得られる
医療機関	山口大学医学部 第一内科	山口大学医学部 第一内科	連携医療機関	連携医療機関	山口大学医学部 第一内科 (RVRは連携医療機関でも可)
治療	PEG-IFN μg			0	#DIV/0!
	リバビリン mg			0	#DIV/0!
検査	PEG-IFN積算量(予定%)			0	#DIV/0!
	リバビリン積算量(予定%)			0	#DIV/0!
	白血球数 / μl				
	好中球数 / μl				
	Hb g/dl				
	血小板数 $\times 10^4 / \mu\text{l}$				
	AST IU/L				
	ALT IU/L				
	Cr mg/dl				
	Glu mg/dl				
	TG mg/dl				
	HCV-RNA量 Log ₁₀ U/ml				★
	定性 十・一				
	AFP ng/ml				
	腹部超音波				
眼科				★	
体重 Kg					
食欲不振					
不眠・気分の落ち込み					
貧血症状					

肝炎パスポート

C型慢性肝炎インターフェロン治療用クリニカルパス

患者名		性別	男・女
かかりつけ医	ID ()	生年月日	/ /
専門病院	ID ()	身長(cm)	
HCV型	1・1b・2・2a・2b・()	体重(kg)	
輸血症	あり・なし	手術歴	あり・なし
糖尿病	あり・なし	高血圧	あり・なし
肝線維化	慢性肝炎・肝硬変	インターフェロン治療歴	あり・なし

治療経過表

治療週数	0週	1週	2週	3週	4週
日付	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
ペグイントロン(μg)	80/100/()	80/100/()	80/100/()	80/100/()	80/100/()
ペガシス(μg)	90/180/()	90/180/()	90/180/()	90/180/()	90/180/()
他のIFN	()	()	()	()	()
リバビリン(mg)	600/800/()	600/800/()	600/800/()	600/800/()	600/800/()
ALT (IU/L)					
HCV RNA (log ₁₀ IU/ml)	<5.0・≥5.0				
WBC (/mm ³)					
Hb (g/dL)					
Plt (万/mm ³)					
好中球 (万/mm ³)					
適用コメント 記入欄	HCV RNA ≥ 5.0(log ₁₀ IU/ml)は高ウイルス量				

本日の内容

- 肝疾患ワーキンググループの立ち上げ
- 肝炎治療診療連携
- **肝臓病教室の運営**
- Q&Aコーナー
- 肝炎ウイルス検査の広報活動
- 肝疾患研修会での活動報告



(美かん)

(かん太)

肝臓病教室の運営(1)

◆昨年度までの現状

- 病棟看護師は参加していなかった
- 参加者は少なかった
- 年間予定表の掲示のみだった

◆今年度から行ったこと

- 時間・場所を変更した
- 手作りのポスターを院内に掲示、ホームページに掲載する
- 肝臓病教室に病棟看護師が参加する
- 病棟や外来で直接案内をする



手づくりのポスターで
アピールしています！

肝臓病教室の運営(2)

◆今年度の現状

- ・年6回開催予定
- ・医師、栄養士、肝疾患相談員、
看護師が参加
- ・参加者の増加: 16~17名



◆今後の課題

- ・看護師主催の教室を開催する
- ・参加者のニーズを把握し、
他職種と連携し、充実した
教室の開催を目指す

本日の内容

- 肝疾患ワーキンググループの立ち上げ
- 肝炎治療診療連携
- 肝臓病教室の運営
- **Q&Aコーナー**
- 肝炎ウイルス検査の広報活動
- 肝疾患研修会での活動報告



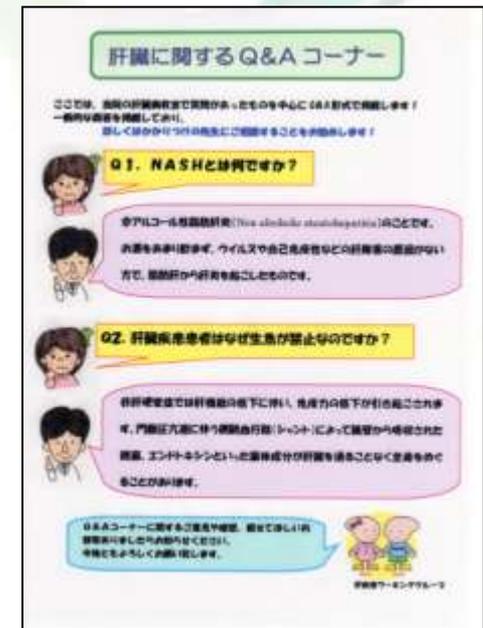
(美かん)

(かん太)

Q&Aコーナー

◆肝臓病教室で質問があったものを中心に当院の肝疾患センターのホームページにQ&A形式で掲載している

◆Q&Aコーナーの内容を冊子にしたものを配布すること等を検討している



本日の内容

- 肝疾患ワーキンググループの立ち上げ
- 肝炎治療診療連携
- 肝臓病教室の運営
- Q&Aコーナー
- **肝炎ウイルス検査の広報活動**
- 肝疾患研修会での活動報告



(美かん)

(かん次)

肝炎ウイルス検査の広報活動(1)

◆「まちの保健室」事業

- ・日本看護協会、全国の都道府県の看護協会で開催している



◆「まちの保健室」とは

- ・こどもからお年寄りまでこころやからだの気になることや悩みを看護者に気軽に相談できる場
- ・健康生活問題の相談に乗りながら、痛みを分かちあったり、健康関係情報を提供する
- ・街角に相談できる看護者がいることが市民の安心を生む

肝炎ウイルス検査の広報活動(2)

◆活動内容

- ・山口県看護協会宇部支部主催の「まちの保健室」で肝炎ウイルス検査に関する手づくりのチラシを毎月150部配布している
- ・活動内容は当院の肝疾患センターのホームページに掲載している



あなたの**肝臓**は大丈夫？

私たちは沈黙の臓器
肝臓になっても気づか
てもらえんよ。



肝炎は国内
最大級の感染症
患者・感染者は
300万人

肝炎ウイルス検査を 受けたことがありますか？

受けたことがない人は、この機会に肝炎ウイルス検査を受けましょう。

ウイルス性肝炎とは??

肝炎ウイルスによって肝臓の細胞が壊れていく病気です。この病気になると、
徐々に肝臓の機能が失われていき、**肝硬変**や**肝がん**に至ることもあります。

もし、**肝炎ウイルス**に感染していたら??

まずは専門医に相談してみましょう!!!

治療が必要な場合、そうでない場合があります。

インターフェロン治療、
核酸アナログ製剤治療の医療費の助成があります。

原則 月あたり1万円 世帯所得の高い方は2万円
を超える部分について、医療費が助成されます。

H22年度から利用しやすく変わりました

肝炎ウイルス検査を受けるには...

- ★お住まいの市町村での検診・指定の医療機関での検査
- ★お住まいの都道府県等の保健所での肝炎ウイルス検査
があります。

詳細はお問合せ下さい。

山口県健康福祉部健康増進課 083-933-2943
宇部健康福祉センター 0836-31-3200

インターネットでも情報がご覧いただけます。

山口大学医学部附属病院 肝疾患センター

アドレス⇒<http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~kanzou/index>



本日の内容

- 肝疾患ワーキンググループの立ち上げ
- 肝炎治療診療連携
- 肝臓病教室の運営
- Q&Aコーナー
- 肝炎ウイルス検査の広報活動
- **肝疾患研修会での活動報告**



肝疾患研修会での活動報告

- ◆主催：山口大学肝疾患センター
- ◆年1回開催
- ◆対象：山口県内の肝疾患診療に携わる人
- ◆目的：山口県内の肝疾患診療に関する情報の共有を図る



今後の課題

山口県肝疾患看護の質の向上と
看護職の連携強化

- ◆院内・山口県内の看護部門への広報活動
- ◆山口県内での研修会・講演会の開催の検討
- ◆地域住民への広報活動の強化